

横浜市立美しが丘中学校

令和4年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
努力 協力 人間力 ・健康で、自ら学び、考え、努力する生徒を育てます。【知】【体】 ・互いに思いやり、協力し合い、自他を尊重できる生徒を育てます。 【徳】【公】【関】	・学びを人生や社会に生かそうとする力・ 主体的に物事に取り組む力・周りとのコミュニケーションを取る力

(2) 中期取組目標

学校経営中期取組目標

- ①教職員が学校経営に主体的に参画し、学校教育目標や小中一貫教育共通目標の具現化を推進する。
- ②学力の3要素を育み、学びの広がりや人間力の土台となる学力向上をより充実させる。
- ③地域の中の学校として、学校運営協議会や学校評価手法を活用し、信頼され開かれた学校づくりを進める。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	①校内授業研や小中合同研究会等において、授業を積極的に公開し「わかる授業」を目指した指導方法工夫改善を図る。また、少人数・TT授業を通し、極め細かな授業に取り組む。 ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と新教育課程に向けた指導と評価が一体となる年間授業計画の作成に取り組む。
担当 学習指導部	

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

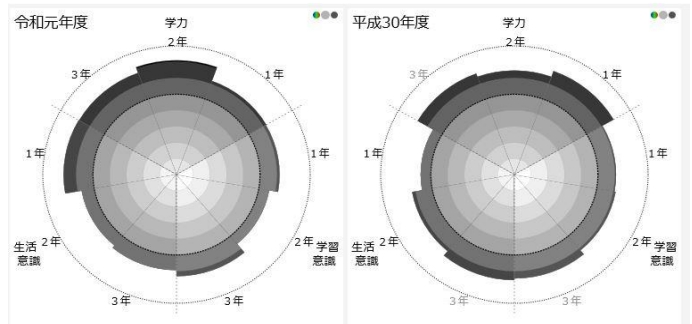
2年連続で「横浜市学力学習状況調査」が実施されなかったため、昨年度の卒業生の在学中の資料をもとに実態把握を行った。

(1) 学力の概要と要因の分析

昨年度の3年生の教科の学力は、全学年において市の平均を上回っている状況である。

学習意識においては、かなり意識を高くもっている傾向から、今後の学力向上への影響が期待できる。

生活意識においては、特に学校生活に関して、一昨年度の調査では「自分から挨拶をしている」という項目に消極的で、昨年度は力を入れて取り組んだが、大きな改善にはつながっておらず、課題の一つと考えられる。



(2) 教科学習の状況

- 国語科： 知識・読む・書く能力の観点すべてにおいて、市平均を上回っていた。しかし、書く能力に課題がある。
- 社会科： 知識・理解や資料の読み取りなどの正答率が高いが、資料などをもとに考え表現する能力に課題がある。
- 数学科： 全観点において、バランス良く正答しており、どの観点も市平均を上回っており、特に、技能は市平均を大きく上回っている。作図利用などの図形の考え方を必要とする問題解決に課題がある。
- 理科： 前向きな姿勢があり正答率も高い。特に実験・観察の技能と科学的な思考についての通過率が高く、科学的な探究力の向上が見られる。しかし、留意点などを欠いた短絡的な知識の定着も見られ、基礎力の充実や論理的な活用力の向上が課題となっている。
- 外国語科： 市の平均を上回っており、学習内容がよく定着されている。特に英文を読む力が優れている。聞く力をつけるよう、指導をさらに工夫していきたい。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学校全体として教科への学習意識は総じて高く、学習することの意義を感じている生徒が多い。どの学年でも学力層でみると市平均より高い割合である。授業でノートをていねいに工夫して書くことを意識している生徒も増加しており、意識の改善がみられる。しかし、「勉強が好き」と感じる生徒は市平均と大差はなく、学びへの意欲に関わる手立てが大きな課題である。今後も興味・関心や生徒が達成感を味わいながら学習を進めることを推進したい。また、「自分のことが好きですか」「自分にはよいところがあると思いますか。」という、自己肯定感に関わる問いに肯定的な回答は増えてきたが「どちらかといえばそう思う」という、漠然とした感覚がとても多く、学力層とのかみ離れが見られる。今後も基礎的・基本的な知識の充実をはかりつつ、適切な家庭学習を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」から、思考力・判断力・表現力とともに、主体的に学を深めていく力の育成を推進する。また、「じっくり考え 高め合い 次につながる確かな学び」につなげるため、生徒一人一人の学習の成立を促すため教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていく。

3 令和4年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組
国語	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する力。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会生活に必要な国語の能力の基礎を身につけるため、漢字・語句についての反復練習や確認テスト等を計画的に実施する。 ○ スピーチや話し合い活動等、言語活動を重視した授業展開を行い、主体的に考え、表現する力を高める。
社会	様々な資料を活用して物事を多角的・多面的にみる力を身につけ、主体的に思考・判断や表現をする力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識の習得や資料の読み取りを行うことで、知識や資料をもとに、主体的に思考・判断や表現ができるような授業を展開する。 ○ 課題に対する自分の考えをまとめることやグループによる話し合い活動などを取り入れ、自分の考えを深めながら表現させる工夫を行う。
数学	数学的活動を通して数学的な思考力・表現力を身につけ、数学のよさを知り、数学を活用できる力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考力・判断力・表現力の育成のため、自分の考えを発表する場面を積極的に設け、またそれをノートにまとめる活動をしっかり行う。 ○ 個に応じた指導の充実を図るため、3年生では少人数制指導を実施する。
理科	科学的に探究する学習活動を通して、観察、実験の計画や実行結果の処理、考察、推論したことを表現する力。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設定した仮説から、観察、実験の計画、実行し、得た結果を適切に処理し、結果から科学的根拠に基づき考察する活動や、日常生活での出来事との関連性を科学的に説明する活動を進める。 ○ 既得の科学的概念と新たに獲得の資質能力による「理科の見方、考え方」を働かせ、日常での問題解決の場面など「科学的に探究する学習活動」から「主体的・対話的な深い学び」につなげる。
音楽	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するよう、基礎的な知識を身につけさせるとともに、日常的な音楽と自分の生活との関わりなどを考えさせる機会を設ける。 ○ 音楽表現を創意工夫すること、音楽の技能を身につけることによって、音楽を愛好する心情を育む。また互いに教え合ったり演奏を聴きあうことによって、音楽に親しんでいく態度を養う。
美術	表現及び鑑賞の活動を通して、対象や事象を捉える造形的な視点について実感を伴いながら理解し、自分のイメージをもって、主体的につくりだす力。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美術史上の作品だけでなく、友人の作品の鑑賞時間を設け、見方、感じ方の感性を伸ばす。 ○ 表現科目として、様々な方法で自己表現の能力向上を目指し、生徒が主体的に学習できるよう支援する。
保体	運動の楽しさや喜びを味わうとともに、身に付けた「知識及び技能」を活用しながら自己の運動や健康についての課題を解決する学習を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価基準を明確にし、生徒一人ひとりが目標を持って意欲的に活動できるような授業を展開していく。 ○ 運動における競争や協同の経験を通して、互いに協力したり自己の役割を果たしたりする意欲を育てる。 ○ 課題解決に向けての取り組みを「個人で」、「グループで」、「チームで」行っていく。
技・家	実践的・体験的な活動を通して、生活を工夫し創造する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくりを通して生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 ○ 衣食住に関する体験的な学習活動、問題解決的な学習を通じて、生活をよりよくしようとする活動を増やす。
外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと（やり取り、発表）、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語の使用場面や使用目的を明確にし、生徒が主体的にコミュニケーションを図る場面をより多く設定する。 ○ コミュニケーションを図る機会を増やし、個に応じた指導を行うために、一年生ではT・Tと少人数制指導を行う。 ○ 「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「読む」「書く」の5技能をバランスよく身につけさせるための単元計画のもと、円滑なPDCAサイクルの充実を図る。
道徳	自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して育てる道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科横断的な視点に立って年間指導計画を作成し、意図的・計画的に授業を展開する。 ○ 一人ひとりの考え方や感じ方を大切にした授業の展開を工夫する。
特活	集団や社会の一員として自主的、実践的な態度、よりよい人間関係を築こうとする態度を育成する。また、集団活動や自己の生活の充実や向上について考え、積極的に自己を生かして実践しようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 ○ 生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 ○ 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
総合	探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の理解を深めるとともに、課題の解決に必要な知識や技能を身につけるような体験活動を設定する。 ○ 自己の将来について考えを深められるよう、学んだことを整理分析する。
個別級	様々な体験を通して得意なことを発見し、継続して取り組むことにより、自己肯定感を高めて意欲的に生活していこうとする力。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動や交流学习等を通して、コミュニケーション力や社会性を身につけ、集団の一員としての意識をもたせる。 ○ 個別の支援計画及び指導計画に基づき、生徒の特性に応じた支援の充実を図る。 ○ 自ら進んで課題に取り組めるように、生徒の特性を理解し、適切な課題を工夫する。